



文化遺産国際協力コンソーシアム シンポジウム

平成24年(2012年)12月1日(土)

# さまよえる文化遺産

## 文化財不法輸出入等禁止条約 10年

アフガニスタンやイラクなど、戦争や政治的混乱の中で、数多くの文化財が略奪や盗難により国外へと流出していった。しかし文化財の盗難や盗掘などに伴う流出は、混乱期以外にも我々の身近なところでも、12月1日にシンポジウムが開催される文化財を守る取り組みを知るた

「文化財の不法な輸入・輸出入及び所有権移転を禁止し及び防止する手段に関する条約」(「文化財不法輸出入等禁止条約」)を我が国が締結してから今年で10周年を迎える。

大きな契機はアフガニスタンやイラクで流出文化財の保護が注目されたことによる。この流れを踏まえ2002年に我が国も「文化財の不法な輸入、輸出入及び所有権移転を禁止し及び防止する手段に関する条約」(「文化財不法輸出入等禁止条約」)を締結し、同時に条約の実施に関する関係法律を整備した。条約締結から今年で10周年を迎え、これまで我が国においては、不法な文化財取引を防止の危険から保護する取組みが進められてきた。

盗難・破壊を受けたことはもう一つの文化遺産保護に向けた大きな契機となった。「海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力の推進に関する法律」が成立し、海外の文化遺産の保護に係る我が国の国うした中で関係機関の連携強化を推進するため、初代会長の平山郁夫を中心として文化遺産国際協力コンソーシアムを設立し、人類の貴重な遺産を守る取組みにも力が注がれてきた。この文化遺産国際協力コンソーシアムが、今年12月1日のシンポジウムとして文化財不法輸

出入等禁止条約を扱う。我が国での流出文化財保護のための取組みを紹介するとともに、警察や美術商などからも講演者を招き、実際に文化財が流れゆく現場から見たありのままの現状を紹介する。また、イタリアの文化財を守るカラビニエリからも、イタリアの現状を報告する。不法輸出入に関する現状と課題を議論し、一人ひとりが行える文化遺産保護のための国際協力について考えていく。

2012.12.1 [土] 13:00-17:00 [開場12:00] 東京国立博物館 平成館大講堂 [東京都台東区上野公園]

◎申し込み制:定員390名(お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております) / 入場無料

■主催:文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁 ■後援:外務省、(独)国立文化財機構東京文化財研究所、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所、(独)国際協力機構、(独)国際交流基金、(公財)住友財団、(公財)三菱財団、(公財)トヨタ財団、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団、(公財)ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、(公社)日本ユネスコ協会連盟、日本イコモス国内委員会、NHK、朝日新聞社、産経新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社  
[問い合わせ先] 文化遺産国際協力コンソーシアム事務局 〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 Tel:03-3823-4841 Fax:03-3823-4027 E-mail:consortium@tobunken.go.jp

[申し込み方法]  
コンソーシアムウェブサイトの  
申し込みフォームよりお申し込みください。  
<https://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>



文化遺産国際協力コンソーシアム シンポジウム

# さまよえる文化遺産

## 文化財不法輸出入等禁止条約10年

2012. **12.1** [土] 13:00-17:00 [開場12:00]  
 東京国立博物館 平成館大講堂 [東京都台東区上野公園]

入場無料 定員390名 申し込み制。お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております。

参加ご希望の方は以下のコンソーシアムウェブサイト  
 申し込みフォームからお申し込みください。  
<https://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

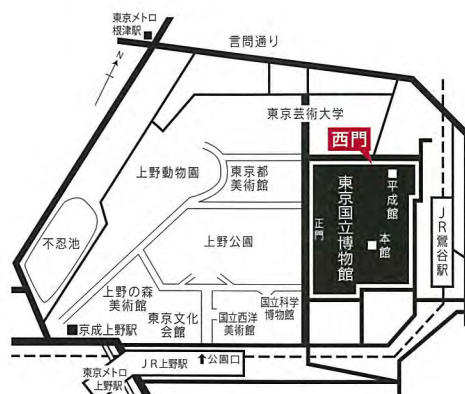
◎問い合わせ先 文化遺産国際協力コンソーシアム事務局  
 〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43  
 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所内  
 Tel:03-3823-4841 Fax:03-3823-4027  
 E-mail:consortium@tobunken.go.jp

「文化財の不法な輸入、輸出及び所有権移転を禁止し及び防止する手段に関する条約」(「文化財不法輸出入等禁止条約」)を我が国が締結してから今年で10周年を迎えます。

大きな契機はアフガニスタンやイラクで流出文化財の保護が注目されたことでした。この流れを踏まえ2002年に我が国も「文化財不法輸出入等禁止条約」を締結し、同時に条約の実施に関する関係法律を整備しました。条約締結から今年で10周年を迎え、これまで我が国においては、不法な文化財取引を防止し、各国の文化財を不法な輸出入の危険から保護する取り組みが進められてきました。

イラクでの遺跡の破壊や博物館での略奪によって貴重な文化財が盗難・破壊を受けたことはもう一つの文化遺産保護に向けた動きへとつながりました。「海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力の推進に関する法律」が成立し、海外の文化遺産の保護に係る我が国の国際協力が推進されたのです。こうした中で関係機関の連携強化を推進するため、初代会長の平山郁夫を中心として文化遺産国際協力コンソーシアムが設立され、人類の貴重な遺産を守る取り組みにも力が注がれています。この文化遺産国際協力コンソーシアムが、今年はシンポジウムで文化財不法輸出入等禁止条約を扱います。

本シンポジウムでは我が国での流出文化財保護のための取り組みを紹介するとともに、警察や美術商など多彩な講演者を招き、文化財が流れゆく現場から見たありのままの現状を紹介します。また、イタリアの文化財を守るカラビニエリからも、イタリアの現状を報告していただきます。文化財不法輸出入に関する現状と課題を議論し、一人ひとりが行える文化遺産保護のための国際協力について考えていく機会といたします。



当日は東京国立博物館西門よりお入り下さい。

■交通機関 JR上野駅公園口、鶯谷駅下車徒歩10分  
 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車徒歩15分  
 京成電鉄京成上野駅下車徒歩15分



### ■ プログラム

13:00 - 13:20	開会挨拶
13:20 - 13:30	文化遺産国際協力コンソーシアムの紹介
13:30 - 13:40	映像上映 「NHKスペシャル アフガニスタン 至宝はよみがえるか」
13:40 - 14:00	講演 1 「文化財不法輸出入等禁止条約と我が国の対応について」 塩川達大 (文化庁文化財部伝統文化課文化財国際協力室長)
14:00 - 14:40	講演 2 「文化財流出を防ぐ — イタリア カラビニエリ(国家治安警察隊)の取り組み」 Oppositional Activities against the Illicit Traffic in Cultural Property and International Co-operation of the Carabinieri for the Protection of Cultural Heritage マッシミリアーノ・クアリアレラ (イタリア カラビニエリ文化財権利保護作戦班長) Massimiliano QUAGLIARELLA (Capo Sezione Operazioni del Comando Carabinieri Tutela Patrimonio Culturale, Italia)
14:40 - 15:00	休憩 (20分)
15:00 - 15:30	講演 3 「奈良県の文化財保安について」 辻本忠正 (奈良県警察本部警視文化財保安官)
15:30 - 16:00	講演 4 「ガンダーラにおける文化財の過去と現在」 栗田功 (欧亜美術店主)
16:00 - 16:50	パネルディスカッション 「文化財の不法流出防止と文化遺産保護」 司会:前田耕作 (文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)
16:50 - 16:55	閉会挨拶